

第15回 河川生態学術研究発表会

開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。現在4つの河川別の研究グループ及び河川総合研究グループが活動しています。この度、応用生態工学会との共催によりこれらの研究グループによる研究成果等を一同に会して発表し、幅広い意見交換と情報共有の場として研究発表会を開催いたします。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様の参加を得て、更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。

敬具

平成24年10月吉日
河川生態学術研究委員会 委員長 谷田 一三
応用生態工学会 会長 近藤 徹

記

●開催日時・会場:

日時：平成24年11月30日(金) 10:30～17:45
内容：各研究グループの研究発表（口頭発表・ポスター発表）
場所：サイエンスホール（北の丸公園内 科学技術館 B2F：別図を参照）
東京都千代田区北の丸公園 2-1
TEL：03-3212-8485（平日 9:00～17:00）
定員：300名程度

●主催:

河川生態学術研究会，応用生態工学会

●問い合わせ先:

公益財団法人リバーフロント研究所内 河川生態学術研究会事務局
担当：坂之井 和之、伊藤 将文、横田 潤一郎
Tel：03-6228-3860
Fax：03-3523-0640
E-mail：rfc-event@rfc.or.jp

●CPD認定:



第7回「川の自然再生」セミナーは、土木学会継続教育（CPD）制度の中級者、上級者向けのプログラムとして認定されています（6.1単位）

会場案内

- 日時**: 平成 24 年 11 月 30 日(金) 10:30~17:30
- 開催場所**: サイエンスホール (北の丸公園内 科学技術館 B2F)
東京都千代田区北の丸公園 2-1
TEL : 03-3212-8485 (平日 9:00~17:00)
- アクセス**: 東京メトロ東西線「竹橋」駅 (1b 出口) 徒歩 7 分
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄新宿線「九段下」駅 (2 番・4 番出口) 徒歩 7 分



- ※ 乗用車でお越しになる場合
1 台 : 3 時間まで 400 円 (その後 1 時間毎に 100 円加算)
駐車台数に限りがありますので、なるべく最寄りの交通機関をご利用ください。
- ※ 河川生態学術研究会事務局では、「駐車料金の領収書」の発行は致しません。

参加申し込み

公益財団法人リバーフロント研究所内 河川生態学術研究会事務局 伊藤 将文 行
ファックス : 03-3523-0640
E-mail : rfc-event@rfc.or.jp

ふりがな	
氏名	
所属	
連絡先	E-mail :
	電話 :
同行者氏名	
懇親会	(いずれかに○) 参加 / 不参加

※ 懇親会 (18:00~19:30) は **3,500 円/人**程度の参加費を予定しております。

第15回 河川生態学術研究会発表会プログラム

河川生態学術研究会事務局

日時：平成24年11月30日(金) 10:30～17:30
於：科学技術館B2Fサイエンスホール(東京都中央区)

I. 開会挨拶 10:30 ～ 10:35
国土交通省 水管理・国土保全局

II. 研究グループの研究発表(午前の部)

1 十勝川研究グループ 座長(中村 太士 代表) 10:35 ～ 11:20
・ 概要報告 他2件を予定

2 多摩川研究グループ 座長(星野 義延 代表) 11:20 ～ 12:05
・ 概要報告
・ 関東周辺の扇状地河川の比較から考える樹林化の要因
知花 武佳(東京大学大学院工学系研究科 准教授)
・ 河川流域におけるハリエンジュの分布拡大機構と林分管理
崎尾 均(新潟大学農学部 教授)

***** 昼 食 ***** 12:05 ～ 13:35
III. ポスターセッション(講演会場外) 12:05 ～ 13:35
コアタイム: 12:50 ～ 13:35

IV. 研究グループの研究発表(午後の部)

3 千曲川研究グループ 座長(平林 公男 代表代理) 13:35 ～ 14:20
・ 概要報告
・ 信濃川水系・犀川におけるハリエンジュの侵入過程と河畔植生に与えるその影響
島野 光司(信州大学理学部 准教授)
・ 千曲川中流域・戸倉地区での自然再生事業において新規創成された瀬ハビタットにおける底生動物種群の定着プロセス、および定着種群の遺伝的構造・多様性について
東城 幸治(信州大学理学部 准教授)

4 五ヶ瀬川水系研究グループ 座長(杉尾 哲 代表) 14:20 ～ 15:25
・ 概要報告
・ 哺乳動物の行動予測および氾濫原の生態的機能に関する研究
ー河川生態系変動予測モデルへの取り組みー
岩本 俊孝(宮崎大学 副学長)
・ ハゼ亜目魚類群集と水際環境構造の関係について
ーハゼ類を指標とした生態系評価ー
鬼倉 徳雄(九州大学大学院農学研究院 助教)
・ 汽水域の甲殻類の生物生息空間の機能を確保する水域環境の保全と創出
伊豫岡 宏樹(福岡大学工学部 助手)

5 河川総合研究グループ 座長(萱場 祐一 代表) 15:25 ～ 15:45
・ 概要報告

***** 休 憩 ***** 15:45 ～ 15:55

V. 総合討論 15:55 ～ 17:25
コーディネーター：中村(浩) 委員、中村(太) 委員
パネラー：江崎 委員、山室 委員、星野 委員、杉尾 委員、萱場 委員

VI. 閉会挨拶 17:25 ～ 17:30
河川生態学術研究会委員長

ポスターセッション

日時：平成24年11月30日(金) 12:05～13:35(ポスター閲覧時間 10:30～16:30)

於：サイエンスホール会場外

[*は発表者]

1. 千曲川研究グループ

1-A 千曲川河道掘削工事による鳥類への影響

* 中村 浩志(信州大学 名誉教授)

1-B 河道掘削による外来種抑制および樹木管理

* 川上 健太郎(国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所)

2. 多摩川研究グループ

2-A 多摩川の恵みと人の利用 変化要因と社会的対応

* 高橋 俊守(宇都宮大学農学部 特認准教授)

2-B 題目未定

* 須田 知樹(立正大学地球環境科学部 准教授)

3. 五ヶ瀬川水系研究グループ

3-A (仮)霞堤防の生態的機能に関する研究

* 山下 奉海(九州大学工学部 学術研究員)

3-B (仮)五ヶ瀬川、球磨川、遠賀川河口域のハゼ亜目魚類相の比較

* 岡本 佳之(九州大学大学院)

小山彰彦・大浦晴彦・乾隆帝・及川信・鬼倉徳雄